

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月25日

事業所名 ミントブルー

保護者等数(児童数)17 回収数 15 割合 88%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2		1	・野外(公園)にも連れてくれている。	・今後も野外での活動を継続します。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11			4	・わからない。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされるか	12			3		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14			1		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15				・連絡帳で、外出や行事ごとのプログラムがあるのを、読んでいいと思います。	・今後も続けてゆきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3		9	・小学校に行っているの、ミントブルーでは個別にしっかりと支援してもらおうと嬉しい。交流はその後で。	・長期休暇等では、地域交流に参加している。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	2			・連絡帳にしっかり様子が書き込んであり満足しています。 ・面談時しかゆっくり話せませんが、子供は通いだしてから落ち着いています。 ・連絡帳のやり取りや、送迎時の職員からの引継ぎ・報告が助かります。	・ご家族との面談や担当者会議で、児童の課題を認識して、職員全体で取り組みます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14			1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	6		7	・保護者の会があるのかわからないので、会があるのであれば教えてほしい。	・保護者の会は現在ありません。ニーズがあれば検討します。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1		3	・苦情受付窓口を活用している。	・窓口で受け取った苦情を、迅速かつ適切に対応しています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1			・連絡帳と送りの職員の方にお伝えしているとキチンと伝わります。	・連絡帳、ミント通信および契約時の個人情報に関する事項に則り、細心の注意を払います。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1		1	・明日のお便りを家族で見えています。 ・月に1回のお便りを楽しみにしています。	
14 個人情報に十分注意しているか	13	1		1			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	2		2		・送迎の際の申し送りを通じて、当園での活動を報告します。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	3		5	・連絡帳やミント通信で消防訓練の様子を知ることができた。	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14	1			・おだやかな笑顔で帰ってきます。 ・1年生の男の子や、若い先生と遊べてうれしいと言っています。 ・毎日嬉しそうに、今日はミントの	・今後も高評価をいただけるよう邁進してまいります。
	18 事業所の支援に満足しているか	15				・満足しています。	

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月25日

事業所名 ミントブルー

保護者等数(児童数)17 回収数 15 割合 88%

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
--------	----	---------------	-----	-------	-----	----------------

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月25日

事業所名 ミントブルー

保護者等数(児童数)4人 回収数 1人 割合 25%

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1			・4名中1名だけ返信。 ・保護者からのご意見はありませんでした。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	1				
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1				
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	1				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか	1				
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1				
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	1				
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会が確保されているか	1				
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	1				
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	1				
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	1				
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1				
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援され、子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応され、子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1				
	16 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1				
	17 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	1				
	18 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1				
	19 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1				
非常時等の対応	20 子どもは通所を楽しみにしているか	1				
	21 事業所の支援に満足しているか	1				

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月25日

事業所名 ミントブルー

保護者等数(児童数)17 回収数 15 割合 88%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
--	--------	----	---------------	-----	-----------	-----	----------------

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを行うこと。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。